



町内会事務委託料の見直しを！

高橋 浩輔（みらい）



問／町内会は本来の業務に加え、市の事務委託に基づき行政を補助する役割も多く担っており、その負担は大きいと考える。令和2年度の見直し以降、どのような意見を聞いているか。その意見や町内会の現状を踏まえ、改めて事務委託料に反映する考えはないか。

答／見直しを行って以降、一部の町内会長から、負担が大きいことや、各種人選が難しく苦慮されているという声をはじめ、「世帯数に応じた段階的な均等割単価を設定すべきではないか」、「民生委員・児童委員の推薦などは世帯割の方が適しているのではないか」というご意見も聞いている。市の方針を説明し、理解いただくには時間がかかるが、できるだけ速やかに見直しの検討に着手したいと考えている。

三世代同居・近居に対する支援策は？

問／三世代同居・近居のメリットをいやすために、その支援制度として、福島県いわき市では住宅新築・取得の経費を補助している。当市においても同様の支援策を講ずる考えはないか。

答／近年、ライフスタイルが大きく変化している。多様な家族形態を選択することができるとは、行政が三世代同居などの生活様式を促すことは難しい面もある。既存の住環境向上のための事業を活用いただければと考える。



多様化する市民ニーズに対応した組織編成 ストラットン恵美子（久比岐野）



問／子育てと教育の部署を統合する考えは。答／現時点では考えていない。

問／外国人市民支援課を設置してはどうか。

答／関係部署や国際交流協会等との情報共有と連携で、総合的に対応できる体制を構築する。

総合計画の達成分析はWell-beingが鍵

問／第7次総合計画の達成度等の分析のために、Well-beingを把握する考えはあるか。

答／当面は、国の動向や他の自治体の先行事例などを注視し、研究する。各種調査の結果を活用し、関連する指標の把握に努める。

健全で明るい職場環境で市民サービス向上を

問／行政内のハラスメント防止策を聞きたい。

答／上越市ハラスメント防止及び対応に関する指針を策定し、対応している。

「部活動の地域移行」に向けた市の考え

問／令和5年度に向け、方向性は決まったのか。

答／休日は部活動を原則として行わないが、休日にスポーツ等を希望する生徒のための人材確保等を推進委員会で検討し、環境整備を進める。

※Well-beingとは、肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた幸福な状態。



介護保険制度改定は 更なる負担増を進める



問／厚生労働省は、介護保険制度の次期改定に向け、「給付と負担の見直し」に関する7つの論点を社会保障審議会（介護保険部会）に示した。「介護保険サービスの利用料負担（2〜3割）の対象拡大」、「要介護1及び2の訪問介護などを保険給付から外す」、「ケアプランの有料化」、「老健施設などの相部屋（多床室）の有料化」、「補足給付の資産要件に不動産を追加する」など、利用者やその家族、介護事業所等に更なる負担増と給付抑制に繋がる内容だ。どのように考えるか。

答／国から公表された範囲でしか情報を持っていない。個々の論点について、是非を言える段階ではない。保険者として必要なサービスを提供していくとともに、給付と負担のバランスを図りながら、保険料と公費、利用者負担の適切な組み合わせにより、持続可能な制度を確立していくことが重要であると考えている。

問／個々の論点について、是非を言えないというのはおかしい。世論の反対で先送りにせざるを得なくなった論点もある。介護保険制度を守るために、しっかりと市長の考えを述べるべきだ。

答／毎年、全国市長会を通じて国費の負担割合を増やすことや、介護度1・2を介護保険制度の対象から外すことなどをしないよう国に求めている。